

地域母子保健研修会 7.

「多機関連携による要保護・要支援児童、特定妊婦の支援」

- 《目的》** 子育て世代に対する包括的な支援体制の強化として、母子保健と児童福祉部門を一体化した「こども家庭センター」の市町村への設置が求められています。
 虐待の発生予防を担う母子保健担当と、児童虐待相談対応や要対協の担当部署が強みを生かし、伸びしろのある支援を展開できるよう、虐待された子どもやその親の理解を深めます。
- 《日程》** 令和8年1月15日(木)～1月16日(金)
- 《対象》** 母子保健分野・児童家庭母子保健分野・児童家庭分野・児童相談所等に勤務する保健師、助産師、看護師、保育士、社会福祉士、心理士 等
- 《定員》** 会場：50名 / Web：60名

月日	時間	内容	講師	所属・専門分野
1/15 (木)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて		
	10:30～11:40	児童虐待防止対策について 母子保健・児童福祉行政の最近の動向	笠 真由美	こども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 事例分析指導専門官
	11:40～11:50	質疑応答		
	11:50～12:50	昼食		
	12:50～14:00	事例から学ぶ関係機関との協働・・・重篤事例、要保護児童対策地域協議会の運営を含む	宮島 清	社会福祉士 (子ども家庭福祉、ソーシャルワーク)
	14:00～14:10	質疑応答		
	14:10～14:25	休み		
	14:25～15:35	DVと子どもの虐待対応の理解と対応	森田 展彰	筑波大学大学院 社会精神保健学分野 准教授
	15:35～15:45	質疑応答		
1/16 (金)	9:30～10:15	グループワーク		
	10:15～10:30	休み		
	10:30～11:40	被虐待児の心の傷つき	菊地 祐子	子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ
	11:40～11:50	質疑応答		
	11:50～12:50	昼食		
	12:50～14:00	特定妊婦の地域支援 医療・福祉・保健の連携	上野 昌江	四天王寺大学看護学部 教授
	14:00～14:10	質疑応答		
	14:10～14:25	休み		
	14:25～15:35	子ども虐待早期発見と対応、地域と医療の 機関連携、多職種連携	溝口 史剛	前橋赤十字病院小児科
	15:35～15:45	質疑応答		

地域母子保健研修会 7.

「多機関連携による要保護・要支援児童、特定妊婦の支援」開催要領（ハイブリッド形式）

1. 目 的

子育て世代に対する包括的な支援体制の強化として、母子保健と児童福祉部門を一体化した「こども家庭センター」の市町村への設置が求められています。虐待の発生予防を担う母子保健担当と、児童虐待相談対応や要対協の担当部署が強みを生かし、伸びしろのある支援を展開できるよう、虐待された子どもやその親の理解を深めます。

2. 期 間

令和 8 年 1 月 15 日（木）～ 1 月 16 日（金）

3. 会 場

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 4 階研修室

〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8 （東京メトロ日比谷線広尾駅 徒歩約 8 分）

4. 対象者・定員

母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健、助産師・看護師・保育士・社会福祉士・心理士等 （定員：会場 50 名／Web 60 名）

5. 内 容

日程表をご参照ください。

6. 申し込み

本会ホームページ上の申込フォームより、令和 7 年 11 月 17 日（月）～12 月 5 日（金）の期間内にお申し込みください。

Web 受講については、ビデオツール「Zoom ウェビナー」を使用してのライブ配信です。

同一ご所属先から複数名ご参加を希望される場合も、お一人ずつお申込みください。

7. 受講料

28,600 円（税込）※WEB 受講生のみ資料郵送料＋430 円

8. 受講決定

申込締切日以降 10 日を目途にメールにて通知いたします。

9. 問合せ先

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 研修部

電話：03-3473-8335 Email：kenshu@aiiku.or.jp